

中学生連載企画 私たちのふるさと松山学 No.17

雄新
中学校

歴史と文化の薫る 正岡子規の育ったまち

私たちは総合的な学習の時間に、地域の名所などを巡りながら地域のひとたちと触れ合う「雄新リサーチ」を行い、その調査結果を自作の新聞にまとめました。

正宗寺・子規堂

子規堂は正宗寺の中にある、子規が17歳(数え年)まで過ごした生い立ちの家を復元したものです。子規が当時住んでいた部屋が再現され、遺墨、写真などの関連資料が展示されています。子規堂の前には、子規が正宗寺のことを詠んだ、名月や寺の二階の瓦頭口の句碑が建てられています。これは子規の没後100年を記念し2001(平成13)年に建てられたものです。

子規の俳句と生活



子規堂では、子規の生きた生活や、色々な俳句の意味について知...

雄新新聞

雄新新聞の1年... 11月29日

昔と今の雄新校訓

雄新公民館では、館長の森田さんか... 雄新中学校

編集後記

自分が使っている地区が、知らなかつたこと、驚くこと、古く歴史あつた、古い歴史あつた、今まで残...

子規堂の前には坊つちゃん列車の客車があり、子規の親友・夏目漱石はこの列車を小説「坊つちゃん」の中で「マツ子箱のような汽車」と表現しています。



秋川 莉央さん (2年)

正岡子規(本名・常規)は字を書くと視を使っています。子規はたった三畳の部屋で勉強していたそうです。子規堂では子規が過ごした部屋の雰囲気を感じることが出来ます。




山岡 莉奈さん (2年)




鬼子母神は安産や子育てなどの神です。もともと人間の子どもを捕らえて食べる鬼女神だったため、困り果てた村人はお釈迦様に救いを求めます。そこでお釈迦様は鬼子母神の末子であるヒンキヤラを隠します。鬼子母神は子を暴れ狂うように探したため、お釈迦様がそれまでの鬼子母神の非行を戒め、親子の愛を説き、改心させました。こうして人の

鬼子母神堂



浜本 力太さん (2年)



田井 良太さん (2年)

先人と文化の読み物教材

「語り継ぎたいふるさと松山 百話 I・II・III」



松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた教材集です。一話が10~14ページ程度で、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができ、市立図書館で見ることができます。

善復寺



竹永 絢音さん (2年)

善復寺は鬼子母神堂の隣にある寺で、宗派は真言宗豊山派、本尊は十一面観音像です。寺の入り口には「弘法大師1150年御遠忌記念水子地蔵尊」と記された水子供養の像があります。水子とは流産などで死亡した胎児のことで、日本神話に出てくる水蛭子に由来しています。

子どもを守る神となったという伝説が残っています。鬼子母神堂には子規が幼少時代を振り返り詠んだ、蕙苺や普通ひし叔父が家の句碑が建てられています。



歴史を守り続けてきた地域の人に感謝

歴史や建造物が残っているのは地域の皆さんが守り続けてきたおかげだと思つたので、地域の皆さんに感謝して、これからは自分たちがその文化を守り続けたいと思います。(田井)

地域に恩返しを

私たちが雄新の歴史に触れられるのは、歴史を伝えてきた地域の皆さんのおかげだと思つています。それに少しでも恩返しするためにあいつや奉仕活動をして地域に貢献したいです。(竹永)

「当たり前」に感謝して

当たり前のように自分のまちに歴史が目に見える形で残っているのは、きれいに残してきた人がいたからであり、感謝の気持ちを忘れずに生活したいです。(秋川)

笑顔あふれるまちに

自分の知らないことやさまざまな知識・経験を地域の皆さんが優しく笑顔で教えてくれたので、この経験を学業や生活にも生かし、笑顔あふれるまちにしたいです。(宮原)

これからは自分たちが歴史を守りたい

雄新地区には伝統的で重要な文化財などが残っていくべきものがたくさんあるので、大人になったら、それを守る活動をしてみたいと思つきました。(浜本)

歴史に誇りを持ち、未来につなげる地区

雄新地区は歴史に誇りを持ち、未来につなげていこうという気持ちのある人が多いと思つています。当時の子規を感じ取れる場所をみんなで守り、尊重してきたことを誇りに思つています。(山岡)

